



9月定例会は、9月11日(火)開会予定です。

## 一般会計補正予算

主なもの

### ■地域生活支援事業

講演会開催事業等委託料等 148万8千円  
「手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段によるやさしいまちづくり条例」に基づき、市民の理解を深めるための講演会開催などの費用です。

### ■保育園整備事業

丸石保育園整備補助金追加 1563万8千円  
私立保育園(鯛の原)整備補助金 2億829万3千円

丸石保育園は、老朽化した市立保育園を隣接地に建て替え、31年4月1日に民営化されます。事業者は社会福祉法人さくら福祉会です。

鯛の原の新保育園については、市が事業者を募集し、大野東中学校区域に応募した2事業者のうち、(株)アイシスが選定されました。定員110名、園庭は350㎡程度、31年4月1日開園予定です。

大畑議員の「保育実績は？」との質疑に「保育園の運営実績はないが、資力・信用・能力があり安定した保育運営ができる。今後社会福祉法人の認定を受けると聞いている」との答弁でした。

### ■休日・夜間急患診療所管理運営事業

医師報酬等追加 115万9千円  
火～金曜日の診療でしたが、外科医師の体制がとれたため、月曜日も診療できるようになります。(7月2日から開始)。

### ■筏津地区公共施設再編事業

基本計画策定業務委託料 1320万円  
大野体育館、大野市民センター、図書館等の再編整備の基本計画を策定するものです。(再編基本構想は市のホームページに掲載)  
先行して解体される体育館の解体工事関係費用1000万円の補正予算も計上されています。



## 吉和魅惑の里

### 直営→指定管理者制度に

#### 吉和魅惑の里設置及び管理条例の一部を改正する条例



現在、市直営で行っている吉和魅惑の里の運営を、31年4月から指定管理者制度に移行するものです。指定管理料は3年間で1億1400万円です。

環境産業委員会では、「民間のノウハウがあれば、年間3800万円で済むと考えているのか。」「応募はありそうか。」等の質疑があり、市からは「必要経費を積み上げ、過去の実績を参酌したもので、指定管理者には3年間、年3800万円でやっていただき、できれば(指定管理料の額を)縮めたい。」「吉和地域では夏の雇用が課題であり、通年で雇用できる体制は重要。中山間地域の取り組みに共感してくださる事業者に手を挙げていただけたらと思う。」との答弁がありました。



大畑美紀市議

条例では「手話は言語」であること、「多様なコミュニケーション手段の確保」の必要性を謳い、市の責務、市民・事業者の役割、人材の養成等が規定されています。

## 6月議会報告

6月12日～28日



### 手話をはじめ、多様なコミュニケーション手段の利用促進を

手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例

#### 手話は言語

前号でお知らせしたように、6月議会にて「廿日市市手話言語の普及及び多様なコミュニケーション手段の利用促進によるやさしいまちづくり条例」が提案され、全会一致で可決されました。施行は本年7月1日です。



### 119番通報 多言語で可能に

英語・中国語・韓国語・仏語・スペイン語・ポルトガル語・タイ語・ベトナム語・タガログ語・インドネシア語・ネパール語・独語、イタリア語・ロシア語、マレー語の15言語で、通報者・消防機関・言語通訳センターが同時に通話できるサービスが開始されます。8月1日から365日24時間対応です(消防本部警防課からの情報提供)

大畑議員の担当は友和市民センターと交流プラザです。

## 議会報告会 市内8会場

8月18日(土)

午前(10:00~11:30)  
午後の開始時間は会場によって違います。

詳細は、議会広報さくらNo.58をご覧ください

豪雨により被災された方にお見舞い申し上げます。

7月6～8日の豪雨は、市内各地に被害をもたらしました。

市関係は、復旧費用がほぼ確定し、既存予算対応以外は専決処分も含め、9月議会に補正予算が報告・提案される予定です。(箇所数は、学校施設1、道路33、河川15、林道32、農業用施設31、農地2、簡易水道2)

・台風12号の通過による本市の人的・物的被害はありませんでした。



#### 市の調査点検

#### ◇ため池の調査

74箇所を調査。

#### ◇市有施設危険度アップ

ク塀・石塀等の対応  
市有施設を調査・点検。早急な対応が必要な12施設については、今年度の既存予算や補正予算で対応。その他の施設は、31年度予算で計画的に改善する方針とのこと。

# 新はつかいち

2018年8月号

日本共産党  
廿日市委員会  
☎(37) 0171  
大畑美紀  
植木京子

☆ひとりで悩まずお気軽に相談を☆  
日本共産党無料法律相談  
毎月第2日曜 午後4時～

西部地区委員会  
☎37-0171  
↑相談の予約は  
大畑美紀  
☎74-2310

保育園再編基本構想は再考を

公立存続がいちばんの子育て施策



大畑 公立保育園を公立のまままで存続させることが一番の子育て施策ではないか。①保育に関する市の責務は。②構想の「公立と民間のバランスを考慮」とは何か。「公立が良い」「なくさないでほしい」という市民の願いをどう受け止めているか。

③株式会社への参入もあるとのことだが、自治体の市場化は問題である。方針を問う。

④三位一体改革で、子育てや教育への補助が大きく削られた。公立・民間の別にかかわらず、十分な財税措置を国に求めるべきだ。

答弁 ①児童福祉法に基づき市は保育の実施義務を負う。保育園再編基本構想を着実に進め、子育て支援全体の充実を図り保育に関する市の責務を果たしたい。

②すべて民営化するのではなく、公・民の役割を明確にし、施設数の割合や地理的配置のバランスを見直す必要があるということである。保護者や地域からの認知度が高いこと、障がい児保育の経験が豊富であること等の特徴をいかに、公私連携型保育園に引き継ぎたい。

③「保育事業を遂行できる十分な資力、信用、能力等をも有し継続的に保育運営ができるもの」であれば法人格は限定していない。多様な事業者の参入で保育サービス向上を図られることを期待する。

④民間保育園へは補助が拡充されている。幼保教育・保育の無償化に必要な財源の確保については市長会を通じて国へ要望している。



中山間地域の展望

現状を認識し、取り組み強化を

大畑 ①中山間地域振興担当部長職がおかれた。中山間地域に関するビジョンを問う。

②地域支援員の待遇や体制の保証は。専門性を発揮し十分に成果を出せているか。

③市行政の持つ情報や専門性を地元と共有し、地域支援員の力も発揮できるようにすべきだがどうか。

④中山間地域の課題は多岐にわたるため、自治振興部だけでなく、農業分野ほか、部署を超えた取り組みを。

答弁 ①「地域を担う次世代の担い手づくり」「5つの地区・地域の特性を生かしたまちづくり」「地域の人口予測と

将来像を地域内で共有」「働く・住む・暮らす・育つ、の4つの視点で取り組みを推進すること」を基本的方針として、総合的かつ戦略的に取り組んでいきたい。

②成果につながっているケースもある一方、地域の中の仕組みづくりにつながっていないケースもある。役割を再度確認し、実践に移せるよう、関係者と各地域支援員との意識合わせの場を持つ。

③市の持つ情報、専門性や役割を、地域を十分に共有し、互いに学びあう機会も作り課題解決に向け、地域支援員とともに取り組んでいきたい

④先進事例を研究し、部署を超えて取り組む。

中山間地域振興の基本方針や地域支援員の活動など、廿日市市のホームページで見ることができます。



拡大生産者責任(EPR)

生産者が製品廃棄後の環境にまで配慮した製品設計を行うものです。日本は自治体がかみ処理の費用を分担している「部分的EPR」ですが、生産者の責任を厳密に問うべきです。

プラスチックごみ深刻化

プラスチックごみの処理が世界的な課題となっています。G7サミットで、海のプラスチックごみを減らすための数値目標を盛り込んだ文書に、日本と米国の署名をせず、環境団体から批判が出ています。

家庭ごみ 有料化ではなく

環境を考えたごみ減量を

大畑 ①新一般廃棄物処理施設の有害物質対策は。

②集約化に伴い廃止される施設の処分は。

③新施設稼働後のごみ減量の目標設定は。

④有料化で減量を促すのは正しい方向ではない。有料化せずに市民や環境団体、事業者等と協力して、環境を考慮した分別・資源化や減量に取り組むべきだが、市民の良識に頼るだけでは限界がある。「排出者の責任」を言うなら、拡大生産者責任も問うべきである。

答弁 ①法規制値より厳しい管理・運転基準値で運用する予定。施設内のごみから生じる汚水排水は、海域には一切放流し

現在、第一希望の園に入れない例が多く、兄弟姉妹で別の園に通わせるを得ないなど保護者の精神的・物理的負担も深刻です。公立の定員や認可保育園を増やすことが一番の解決策です。

弁は「幼児教育・保育の無償化」の財源確保を要請」と、国の方針に沿ったもので、質問の趣旨がかみ合っていない。保育や教育の無償化も大事ですが、急がれるのは、公立保育園の建設費や改修への補助、運営費の国庫負担分の復活です。民間保育園の建設等についても、助成拡充が必要です。

市の方針は 1ℓ=1円 袋なら 45ℓ 45円

